

# インフラ整備70年 講演会（第56回）

～戦後の代表的な100プロジェクト～

## 只見川水力開発と奥只見のダム群

－佐久間ダムに続く奥只見・田子倉ダムの建設と再開発－

### <講演者>

嶋田 善多 電源開発(株)

代表取締役 副社長執行役員

東福 忠彦 前田建設工業(株)

専務執行役員 土木事業本部 本部長

上馬場 靖 前田建設工業(株)

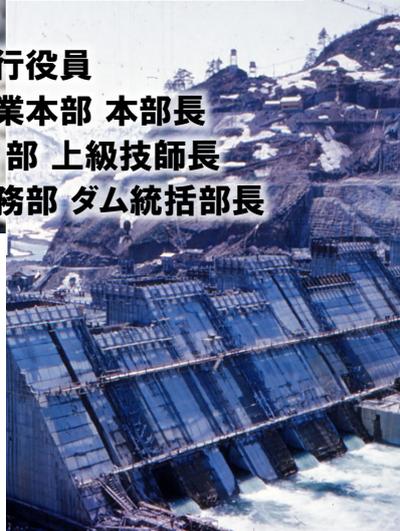
土木事業本部営業第1部 上級技師長

沼本 仁志 鹿島建設(株)

土木管理本部 土木工務部 ダム統括部長

### <講演プログラム>

1. 只見川と奥只見ダム群
2. 奥只見・田子倉開発の経緯と課題
3. 田子倉ダムの施工
4. 奥只見ダムの施工
5. 奥只見発電所の増設
6. 貯水池再開発に向けて



田子倉ダム(上左)・建設状況(下左)  
奥只見ダム(上右)・建設状況(下右)

写真提供:電源開発(株)

2024年 12月19日 (木)

講演会: 16:00～18:00 意見交換会: 18:00～19:00

場所: 政策大学院大学想海樓ホール (会場・WEBのハイブリット形式)

定員: 会場 200名 WEB 1000名

只見川は尾瀬沼を源とし豊富な水量のもと、11発電所計170万kWを有する国内屈指の水力開発河川である。

戦後の電力需要がひっ迫するなか、只見川上流の奥只見（ダム高157m）及び田子倉（ダム高145m）地点は、大型機械化施工の先駆けである佐久間ダム・発電所（ダム高155.5m、35万kW、1956年運開）に続けと、豪雪地帯での諸課題を克服し計74万kWが上下流同時に開発された。

その後の電力需要変化に伴い、奥只見発電所は希少猛禽類と共存しながら、ダム深部の堤体穴空けや地下発電所拡幅による再開発を行った。2003年に出力36万から56万kWに増大し、一般水力発電所の国内最大となった。

奥只見及び田子倉開発の経緯に加えて、再生可能エネルギー拡大のなか水力発電の更なる価値向上に向けた治水、利水、環境を考慮した貯水池再開発について紹介する。

主催: (一社) 建設コンサルタンツ協会

後援: (公社) 土木学会

# インフラ整備70年講演会(第56回)

## 只見川水力開発と奥只見のダム群

### ー佐久間ダムに続く奥只見・田子倉ダムの建設と再開発ー

#### < 講演者 >

嶋田 善多	電源開発(株)	代表取締役 副社長執行役員
東福 忠彦	前田建設工業(株)	専務執行役員 土木事業本部 本部長
上馬場 靖	前田建設工業(株)	土木事業本部営業第1部 上級技師長
沼本 仁志	鹿島建設(株)	土木管理本部 土木工務部 ダム統括部長

#### 講演会 申し込み方法 (変更がありますのでご注意ください)

- 会場 (講演会2000円・意見交換会2000円)、WEB (講演会無料) どなたでも申し込みできます。
- お申し込みは協会HP (<https://www.jcca.or.jp/infra70new/reserve/>) よりお願いします。

#### 【注意事項】

- お申し込みは先着順となります。定員に達した時点で締め切りとなります。
- 申込後に完了通知メールが送付されます。送付されない場合はメールアドレスに不備がありますので、再度、申込手続きをお願いします。
- 申込時の個人情報インフラ整備70年講演会に関する事項のみに使用し、第三者には提供しません。
- 許可なく講演内容の録画・録音による転用等をご遠慮頂きますようお願いいたします。

#### < 会場参加について >

- 申込完了者は、**12/13(金)までに**下記口座へ会費振込をお願いします。なお、領収書は講演会当日にお渡しさせていただきます (振込が期日より遅れますと後日郵送となります)。

**三井住友銀行 飯田橋支店(888) 普通口座 7379944**

**イッパ ンシャダ ンホウジ ンケンセツコンサルタントツキョウカイコウシュウカイヨウグ チ カイヨウ ナカムテツ**

(複数名分の振込を行う場合、対象者名の一覧を下記の間合わせ先メールにご連絡をお願いします)

#### < WEB配信について >

- 申込完了者には、ZOOM入室URL(事前登録用)を講演当日の前日までに送付させていただきます。
- 受講証明書が必要な場合は必ず個人単位で申込みください (複数名での視聴は申込者のみが証明書の発行対象となります。申込みデータとのCHKを行います)

問合せ先 E-mail : [infra70@jcca.or.jp](mailto:infra70@jcca.or.jp)

#### 「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであるとあって過言ではありません。それらの事業の記録はさまざま形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

今般、(一社)建設コンサルタント協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、(一社)建設コンサルタント協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとなりました。

\*建設コンサルタント協会では、これまでの講演概要資料及び今後の予定を協会HPにて公開しています。また、各講演会の概要資料は、協会広報誌“Consultant”別冊として発行予定です。

< 次回講演会予定 > 第57回講演会 2024年1月16日(木) 講演会 15:00~17:00

テーマ：九州自動車道の建設 ～九州の西側を縦貫する背骨、急峻なV字谷の克服～

講演者：渡辺孝雄/元日本道路公団 理事 / 土屋忠三/元日本道路公団 福岡建設局 建設部長

稲田利治/元日本道路公団 八代工事事務所長 / 村田迪夫/元日本道路公団 人吉工事事務所長

藤田筆司/元鹿島建設 肥後・加久藤トンネル工事事務所長

福永靖雄/NEXCO西日本コンサルタント(株) 代表取締役社長

加治英希/西日本高速道路(株) 執行役員 九州支社長

コーディネーター；鈴木辰夫/鉄建建設(株)常務執行役員

\* ライブ配信のみにて行う予定です